

平成30年度 学校法人補陀学園

【資金収支計算書】

科目	決算額
収入の部	
学生生徒等納付金収入	95,694,175
寄付金収入	1,715,224
補助金収入	214,669,261
付随事業・収益事業収入	23,053,268
受取利息・配当金収入	244
雑収入	6,408,676
本部費負担収入等	1,247,636,211
借入金等収入	531,270,000
前受金収入	2,190,000
その他の収入	205,136,130
資金収入調整勘定	△ 8,901,441
前年度繰越支払資金	50,204,460
収入の部合計	2,369,076,208

支出の部	
人件費支出	220,099,574
経費支出	99,182,054
借入金等利息支出	7,430,211
本部負担支出等	1,247,636,211
借入金等返済支出	407,861,955
施設関係支出	327,657,800
設備関係支出	33,251,535
資産運用支出	0
その他の支出	10,569,860
資金支出調整勘定	△ 23,897,316
次年度繰越支払資金	39,284,324
支出の部合計	2,369,076,208

【事業活動収支計算書】

科目	決算額
教育活動収支	
事業活動収入の部	
学生生徒等納付金	86,677,765
寄付金	1,715,224
経常費等補助金	169,858,740
付随事業収入	23,047,268
雑収入	6,098,215
教育活動収入計	287,397,212
事業活動支出の部	
人件費	157,524,515
経費	103,886,114
教育活動支出計	261,410,629
教育活動収支差額	25,986,583

教育活動外収支	
事業活動収入の部	
受取利息・配当金収入	203
教育活動外収入計	203
事業活動支出の部	
借入金等利息	7,394,880
教育活動外支出計	7,394,880
教育活動外収支差額	△ 7,394,880
経常収支差額	18,591,906

特別収支	
事業活動収入の部	
本部負担収入等	520,543,564
特別収入計	520,543,564
事業活動支出の部	
資産処分差額	202,232,302
本部負担金支払等	798,250,519
特別支出計	1,000,482,821
特別収支差額	△ 479,939,257
基本金繰入前当年度収支差額	△ 461,347,351
基本金組入額合計	
当年度収支差額	△ 461,347,351
前年度繰越収支差額	△ 313,554,027
翌年度繰越収支差額	△ 664,161,805

【貸借対照表】

科目	本年度末
資産の部	
固定資産	1,408,313,035
流動資産	46,712,009
資産の部合計	1,455,025,044
負債の部	
固定負債	605,997,162
流動負債	101,121,794
負債の部合計	707,118,956
純資産の部	
基本金	
第1号 基本金	1,189,785,607
第4号 基本金	17,000,000
基本金 計	1,206,785,607
繰越収支差額	△ 458,879,519
純資産の部 合計	747,906,088
負債及び純資産の部合計	1,455,025,044

【財産目録】

科目	金額
基本財産計	1,408,313,035
運用財産計	46,712,009
資産の部合計	1,455,025,044
固定負債計	605,997,162
流動負債計	101,121,794
負債の部合計	707,118,956
差引純資産	747,906,088

平成 30 年度の教育活動等に対する学校評価書

令和元年 6 月 5 日

学校法人補陀学園 若竹幼稚園長 山村伊津子

1 幼稚園の教育目標

「心の清らかな明るい子ども 健康でたくましい子ども 知性豊かでものごとに集中できる子ども 命の尊さがわかる子ども」

2 本年度の重点目標（学校評価の具体的な目標や計画）

「幼児の発達に即した指導の展開や援助のしかたの向上を図る。」

3 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価結果

※評価点は、A（十分達成されている） B（達成されている）

C（取り組まれているが成果が十分でない） D（取り組みが不十分である）

評価対象	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員会	
		評価点	幼稚園としての反省と改善策	評価点	意見
指導計画	子どもの姿やクラスの実態を正しくとらえる。	A	子どもの実態を把握し、子どもを捉えることができていた。子どもに合わせた保育がでた。	A	多くの園児の命を預かる中で、事故もなく運営できているのが良い。子ども一人ひとりを捉えるのは難しいですが、重要です。
指導計画	実態に即した学年・学級の指導計画をたてる。	B	子どもたちの姿に合わせて指導計画を立てることができ、その都度工夫していた。	A	こどもの実態を捉えられたことで、教育内容の充実が図られている。誠意努力されている事に敬意を表します。
保育内容	保育の中で、子どもの発達に即した指導をする。	B	一人ひとりに寄り添いその子に応じてが指導を行うことができた。様々な経験をしたが、検討は必要。	A	園内研修の充実が良い。話し合いを多くする事でお互いに向上できるよう期待します。話し合いの方法を工夫しているようなので、効果が出ると思います。
指導計画	反省に基づき、学年・学級の指導計画を適切に修正する。	B	行事や活動の反省会で意見を出し合い、問題点を見つけ修正を行った。	A	全員での研修がむずかしいが、常勤でない先生の研修等の指導の工夫をしてもらいたい。
指導計画 教育課程	園全体の教育課程や指導計画の見直しをする。	C	1年を通して園全体で検討していく事が必要である。	A	これからの大きな変化の中、先生の数も増えて大変だが、頑張ってもらいたい。

平成 30 年度の教育活動等に対する学校評価書

令和 1 年 5 月 29 日

学校法人補陀学園 若竹こどもの森園長 増田久仁子

1 幼稚園の教育目標

「心の清らかな明るい子ども 健康でたくましい子ども 知性豊かでものごとに集中できる子ども 命の尊さがわかる子ども」

2 本年度の重点目標（学校評価の具体的な目標や計画）

「幼児の発達に即した指導の展開や援助のしかたの向上を図る。」

3 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価結果

※評価点は、A（十分達成されている） B（達成されている）

C（取り組まれているが成果が十分でない） D（取り組みが不十分である）

評価対象	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員会	
		評価点	幼稚園としての反省と改善策	評価点	意見
指導計画	子どもの姿やクラスの実態を正しくとらえる。	B	話し合いを持ち一人一人の成長を把握できるよう努めたが実態を正しく捉えられたか疑問が残る	B	一からのスタートで大変だったと思いますが今後も一人一人を大切にしながら更に頑張ってください。
指導計画	実態に即した学年・学級の指導計画をたてる。	B	上記の理由から難しい点もあったが話し合いを十分に活かしながら計画をたてた	A	こどもの実態を捉えられたことで、教育計画をたてる事ができていたと思います。
保育内容	保育の中で、子どもの発達に即した指導をする。	A	少人数ということで保育の中で個々の発達に即した的確な指導ができた	A	今後人数も増えていき大変になっていくと思いますが少人数での良さを活かして行ってください
指導計画	反省に基づき、学年・学級の指導計画を適切に修正する。	B	個々の指導はできたが年度末に学年、学級の視点から見ると指導計画の修正の検討の余地があった	B	人数が少ないということで子ども同士での育ちの課題が出てくるとおられるので話し合い、反省をしながら計画をしてみてください
指導計画 教育課程	園全体の教育課程や指導計画の見直しをする。	B	保育内容、指導計画の評価の反省をふまえて今後見直していく	B	1年目の反省を活かして2年目・3年目と子どもと保護者の方たちのためにステップアップを期待しています

平成 30 年度 若竹幼稚園

実施月	事業内容
4 月	お花見会 入園式 いちご狩り 父母の会総会 親子遠足(まかいの牧場)
5 月	歯科健診、視力検査、検尿 個人面接(年少・新入園児) 静岡市私立幼稚園連合会講演による研修 清水区私立幼稚園協会全体研修会
6 月	内科健診 動物教室(年長) 消防署見学(年長) 英語教室体育教室参観会(年中年長)
7 月	七夕祭(笹飾りを飾る、年中年長で合奏・合唱)幼稚園体育館にて父母に発表 七夕参観会(年少、2歳) 花火教室 歯科相談 交通教室(年中年長) おとまり保育(年長) 東海北陸地区私立幼稚園教育研修静岡大会
8 月	夏期保育(4日間) 小学6年生同窓会 静岡県私立幼稚園振興協会研修会 夏祭り(年長さんのお店が開店)園児と家族・地域の方々が参加 清水区私立幼稚園実技研修会 こども美術の会実技研修会
9 月	交通教室(年少親子) 運動会(このはなアリーナ) 園児家族他多数参加
10 月	歯科検診 内科健診 個人面接(年中長) 遊木の森体験(年中) さんまの食育(年長) 動物園遠足 レストランごっこ たけのこクラブ「年長さんと遊ぼう」
11 月	防災引き渡し訓練 駿河凧作り講習会 生活発表会おゆうぎ会(マリナート)全園児による劇や歌などの発表
12 月	生活発表会作品展(幼稚園)全園児の絵や造形などを発表 はごろも夢講演会「劇団 風の子」 子ども美術の会作品展参加 もちつき 小学1年生同窓会
1 月	新春親子凧揚げ大会 郵便ごっこ(全園児でお手紙のやり取り) 卒園旅行(年長)「ぐりんぱ」 カルタ大会 小学校見学(年長)
2 月	豆まき(全園児) 影絵劇団角笛観劇 1.2歳児発表会 明治お菓子工場見学(年長) 静岡科学館るくる体験(年長) 小学校見学(年長) 父母参観会 一日入園 清水区私立幼稚園幼児絵画展見学 おわかれ遠足
3 月	ひな祭り 父母参観会 卒園式(89名卒園)

この他に 誕生会(月1回) 県立美術館粘土教室

【子育て支援】 未就園児親子体操教室(月1回程度) たけのこクラブ(月1回程度)
プレスクール「いちご組」

平成 30 年度 若竹こどもの森

実施月	事業内容
4月3日	お花見(自由参加)
4月5日	★入園式
4月23日	★親子遠足
5月	内科検診
5月	歯科検診
6月15日	★親子参観 食育：そら豆皮むき(年少、中)
7月2日	花火教室
7月6日	★七夕まつり 15時～(笹飾りを飾る) 食育：ふりかけ作り(年少)
8月	食育：とうもろこし皮むき(年少、中)
9月	★参加会 食育：ふりかけ作り(2歳、年少、中) 敬老会
10月	★運動会 引渡し訓練 交通教室 食育：さんまの食育(年少、中)
10月	内科検診
10月	歯科検診
11月	動物園遠足 瀬名川文化展、歯磨き教室 食育：三角食べと食器の位置(年少、中)
12月18日	餅つき(ボランティア)、クリスマス会
1月31日	豆まき 食育：箸の持ち方(年少、中)
2月	★おゆうぎ会 作品展
2月28日	入園説明会
3月1日	ひな祭り
3月15日	★1日入園(31年度年少児のみ親子参加) 食育；フルーチェ作り(全園児)
毎月	★お子さんの誕生月の誕生会 15：30～

★は親子参加の行事

避難訓練 別紙計画案参照

スイミング 木曜日(日には年間計画表による、若竹幼稚園年少と合同)

体育教室 週1(火曜日) 英語教室 親子体操教室 月1(月曜日)